2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名	株式会社アクセル		上場取引所　東
コード番号	6730	ＵＲＬ　https://www.axell.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役会長兼社長	（氏名）松浦　一教	
問合せ先責任者	（役職名）執行役員　管理グループ ゼネラルマネージャー	（氏名）田中　大輔	ＴＥＬ　03－5298－1670
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	－

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	9,639	26.2	1,297	13.0	1,300	6.0	964	12.3
2026年３月期中間期	7,635	△6.2	1,148	22.4	1,227	23.3	858	24.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,785百万円（97.2%）　2026年３月期中間期　1,412百万円（85.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	89.54	89.45
2026年３月期中間期	79.04	78.98

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	19,254	15,879	81.7	1,457.81
2026年３月期	16,109	13,732	84.3	1,261.31

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　15,728百万円　2026年３月期　13,583百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	57.00	57.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	79.00	79.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	39.2	2,290	37.6	2,350	31.1	1,700	38.2	157.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,211,989株	2026年３月期	11,211,989株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	423,096株	2026年３月期	442,336株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,774,800株	2026年３月期中間期	10,864,786株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
３．その他 …… 9
最近における四半期毎の業績の推移 …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要があるなど、景気の下押しリスクに留意が必要な状況にあります。また、金融資本市場の変動の影響等にも注意を要し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場におきましては、スマート遊技機の普及が進展する中、市場全体としては底堅い推移となりました。パチンコ機市場におきましては、新台導入や需要回復に向けた動きが見られるものの限定的な推移にとどまった一方、パチスロ機市場におきましては、スマートパチスロを中心に安定した需要に支えられ、堅調に推移いたしました。

かかる環境の中で当社グループは、パチンコ・パチスロ機市場における市場シェア拡大や高付加価値製品への移行、中期的な製品ポートフォリオ拡充に向けた取り組みに注力いたしました。また、生成AI需要の拡大に伴う世界的なメモリ価格の高騰を受け、メモリモジュール等の一部製品において製造原価が上昇したことに対し、製品の付加価値に応じた販売価格の適正化を順次進めてまいりました。あわせて、AI領域の事業展開を推進し、同領域における認知度向上を図るとともに、顧客基盤の着実な拡大に注力いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同中間期比2,003百万円増（同26.2%増）となる9,639百万円となりました。売上総利益率は販売価格適正化等の影響により前年同中間期比3.8ポイント低下の29.9%となったものの、原価高騰分の適切な価格転嫁が進展したことにより、売上総利益は同313百万円増（同12.2%増）となる2,883百万円となりました。販売費及び一般管理費は、次世代製品開発に伴う研究開発費の増加や業績連動賞与の引当増加等により、同163百万円増（同11.5%増）となる1,585百万円となりました。なお、販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、同155百万円増（同20.7%増）となる903百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同中間期比149百万円増（同13.0%増）となる1,297百万円、経常利益は同73百万円増（同6.0%増）となる1,300百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同105百万円増（同12.3%増）となる964百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が357百万円となっております。

① LSI事業

LSI事業セグメントは、既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前年同中間期比2,072百万円増（同28.6%増）となる9,308百万円、セグメント利益は同191百万円増（同12.2%増）となる1,763百万円となりました。主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、前年同中間期に対し約５万個減となる約21万個の販売となったものの、メモリモジュール（注１）製品は前年同中間期を上回る販売となりました。世界的なメモリ価格高騰に伴う製造原価の上昇を受け、付加価値に応じた販売価格の適正化を進めたことが、売上高の増加に大きく寄与いたしました。セグメント利益につきましては、将来の成長に向けた研究開発費の増加や、製品ミックスの変動及び販売価格適正化等に伴う売上総利益率の低下は見られたものの、製品個別の売上総利益（粗利単価）は計画水準を維持し、大幅な増収効果により増益となりました。なお、当中間期末の同セグメントの受注残高は、前述の販売価格適正化による影響に加え、世界的なメモリの供給不安を背景とした顧客の早期発注等により、19,971百万円となっております。

② AI事業

AI事業セグメントは、AI領域を主軸とした事業を展開しており、特に当社が長年培ってきたハードウェア開発の知見を最大限に生かせる「AIコンピューティング領域」に注力しております。なお、組み込み機器市場（注２）向けグラフィックスLSIやブロックチェーン等の領域についても、継続して同セグメントの管理区分に含めております。収益基盤の効率化に向けて、注力領域へのリソース集中等を優先して推進した影響により、同セグメントにおける売上高は前年同中間期比68百万円減（同17.2%減）となる330百万円、セグメント損失は107百万円（前年同中間期は108百万円の損失）となりました。

（注１）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

（注２）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で3,145百万円増加となる19,254百万円（同19.5%増）となりました。主な要因は、保有株式等の時価上昇等に伴う投資有価証券の増加（2,386百万円）、事業活動による現金及び預金の増加（2,040百万円）、売掛金及び契約資産の増加（119百万円）に対し、納品進捗等に伴う商品及び製品の減少（973百万円）等によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で997百万円増加となる3,374百万円（同42.0%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（578百万円）、固定負債におけるその他の増加（621百万円）、賞与引当金の計上（65百万円）に対し、未払法人税等の減少（96百万円）等によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で2,147百万円増加となる15,879百万円（同15.6%増）となりました。主な要因は、保有有価証券の含み益拡大によるその他有価証券評価差額金の増加（1,809百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加（350百万円）等によるものであります。この結果、自己資本比率は81.7%（前連結会計年度末は84.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7,711百万円（前年同中間期比16.9%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動により獲得した資金は2,562百万円（前年同中間期は897百万円の獲得）となりました。これは主に当中間連結会計期間における税金等調整前中間純利益（1,338百万円）、棚卸資産の減少（975百万円）、その他流動資産の減少（323百万円）、仕入債務の増加（578百万円）に対し、売上債権の増加（119百万円）、その他流動負債の減少（184百万円）、法人税等の支払額（442百万円）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動により獲得した資金は160百万円（前年同中間期は203百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入（163百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動により支出した資金は656百万円（前年同中間期は719百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額（613百万円）、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出（45百万円）等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想は、2026年９月28日に公表いたしました「第２四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,170	6,211
売掛金及び契約資産	1,684	1,803
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	4,859	3,885
仕掛品	3	1
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	587	295
貸倒引当金	△0	－
流動資産合計	12,804	13,696
固定資産		
有形固定資産	186	179
無形固定資産	17	11
投資その他の資産		
投資有価証券	2,817	5,204
その他	283	162
投資その他の資産合計	3,100	5,366
固定資産合計	3,304	5,557
資産合計	16,109	19,254
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,195	1,774
未払法人税等	470	373
賞与引当金	－	65
その他	668	496
流動負債合計	2,334	2,710
固定負債		
資産除去債務	42	42
その他	－	621
固定負債合計	42	664
負債合計	2,377	3,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	991	959
利益剰余金	11,451	11,802
自己株式	△391	△374
株主資本合計	13,079	13,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	504	2,313
その他の包括利益累計額合計	504	2,313
新株予約権	17	16
非支配株主持分	130	134
純資産合計	13,732	15,879
負債純資産合計	16,109	19,254

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,635	9,639
売上原価	5,065	6,756
売上総利益	2,570	2,883
販売費及び一般管理費	1,421	1,585
営業利益	1,148	1,297
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	27	24
為替差益	30	－
投資事業組合運用益	16	－
その他	0	2
営業外収益合計	80	37
営業外費用		
為替差損	－	23
投資事業組合運用損	－	7
その他	1	4
営業外費用合計	1	34
経常利益	1,227	1,300
特別利益		
投資有価証券売却益	－	38
その他	－	0
特別利益合計	－	39
特別損失		
減損損失	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前中間純利益	1,224	1,338
法人税等	354	362
中間純利益	869	976
非支配株主に帰属する中間純利益	10	11
親会社株主に帰属する中間純利益	858	964

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	869	976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	543	1,809
その他の包括利益合計	543	1,809
中間包括利益	1,412	2,785
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,401	2,773
非支配株主に係る中間包括利益	10	11

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,224	1,338
減価償却費	40	43
株式報酬費用	12	32
受取利息及び受取配当金	△32	△34
投資事業組合運用損益（△は益）	△16	7
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△38
売上債権の増減額（△は増加）	290	△119
棚卸資産の増減額（△は増加）	△251	975
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△73	323
仕入債務の増減額（△は減少）	△523	578
その他の流動負債の増減額（△は減少）	101	△184
その他	146	49
小計	918	2,971
利息及び配当金の受取額	31	33
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△53	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	897	2,562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16	△20
無形固定資産の取得による支出	△0	－
投資有価証券の取得による支出	△231	－
投資有価証券の売却による収入	－	163
投資事業組合からの分配による収入	44	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203	160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△227	－
配当金の支払額	△493	△613
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	－	△45
その他	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719	△656
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△25
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6	2,040
現金及び現金同等物の期首残高	6,600	5,670
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,593	7,711

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	LSI事業	AI事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,236	399	7,635	－	7,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,236	399	7,635	－	7,635
セグメント利益又は損失（△）	1,571	△108	1,462	△314	1,148

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△314百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	LSI事業	AI事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,308	330	9,639	－	9,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	9,308	330	9,639	－	9,639
セグメント利益又は損失（△）	1,763	△107	1,655	△357	1,297

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△357百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

３．その他

最近における四半期毎の業績の推移

2027年３月期

（単位:百万円）

	第１四半期 2026年４月～ 2026年６月	第２四半期 2026年７月～ 2026年９月	第３四半期 2026年10月～ 2026年12月	第４四半期 2027年１月～ 2027年３月
売上高	4,679	4,960	－	－
売上総利益	1,493	1,389	－	－
営業利益	760	537	－	－
経常利益	780	519	－	－
税金等調整前四半期純利益	779	558	－	－
四半期純利益	550	425	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	546	418	－	－
四半期包括利益	1,030	1,755	－	－
１株当たり四半期純利益	50.76円	38.77円	－	－
	第1四半期末	第2四半期末	第３四半期末	第４四半期末
総資産	16,526	19,254	－	－
純資産	14,103	15,879	－	－
１株当たり純資産	1,296.07円	1,457.81円	－	－

2026年３月期

（単位:百万円）

	第１四半期 2025年４月～ 2025年６月	第２四半期 2025年７月～ 2025年９月	第３四半期 2025年10月～ 2025年12月	第４四半期 2026年１月～ 2026年３月
売上高	4,027	3,608	3,342	3,678
売上総利益	1,462	1,107	995	1,143
営業利益	807	340	324	191
経常利益	839	388	350	214
税金等調整前四半期純利益	837	386	349	210
四半期純利益	588	280	247	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	585	273	246	124
四半期包括利益	842	569	132	△132
１株当たり四半期純利益	53.45円	25.34円	22.89円	11.57円
	第１四半期末	第２四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	15,103	15,955	16,107	16,109
純資産	13,311	13,734	13,870	13,732
１株当たり純資産	1,207.29円	1,262.01円	1,274.22円	1,261.31円